

日時 2026年10月27日（火）19：30～21：00（質疑含）

演題 プラスチック資源循環政策の動向

講師 金子 浩明さん（環境省 容器包装・プラスチック資源循環室長）

申し込みは、3R全国ネット(reuse@citizens-i.org)宛てに、メールでお願いします。件名を「オンラインセミナー10月27日視聴希望」とし、氏名・所属・TELを記載してください。後日、視聴用のURLをお送り致します。
カンパにご協力いただける方は、<https://3r261027.peatix.com>から「チケットを申し込む」にて、オンラインでお申込みください。

参加費無料
先着100名まで



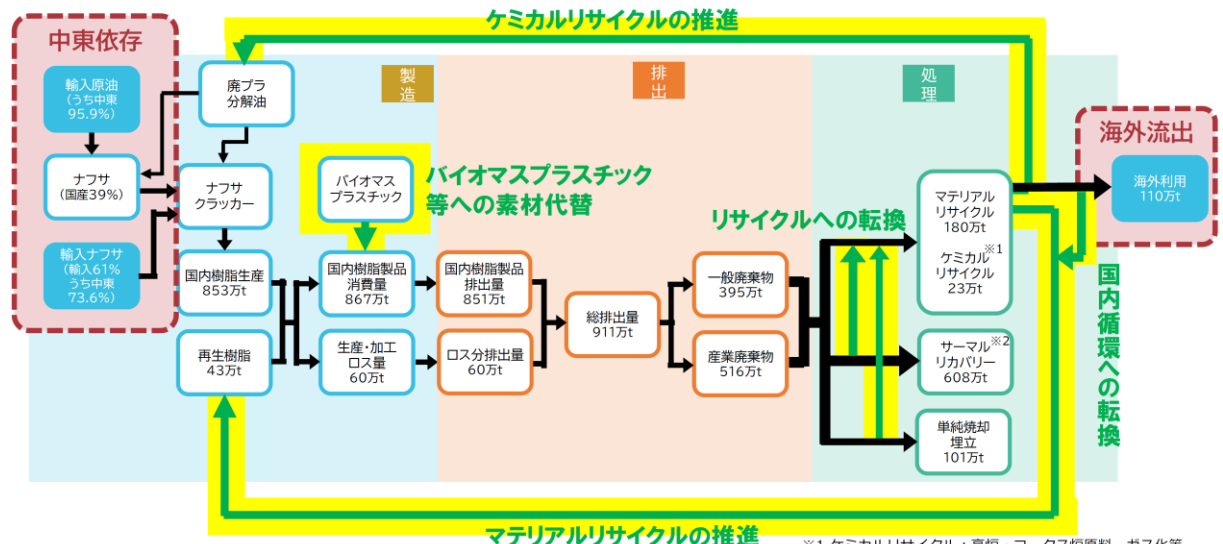
【講師プロフィール】

環境省 環境再生・資源循環局 資源循環課 容器包装・プラスチック資源循環室長
2008年4月に環境省に入省。家電エコポイント、新卒採用、環境アセスメントを担当した後、2015年から資源エネルギー庁に出向（再エネ固定価格買取制度担当）。
2017年に環境省に戻り、容器包装リサイクルやプラスチック資源循環政策を担当。
2021年から在米日本大使館駐在、2024年から地球温暖化対策課を経た後、2025年8月から現職。

プラスチック資源循環の方向性



- プラスチックの基になる原油やナフサは、**海外からの輸入に依存**。また、プラスチックごみは**78%が焼却・埋立処理**されており、リサイクルされたプラスチック材のうち**7割が海外に輸出**されている。
- 排出されたプラスチックを再生樹脂として活用する**マテリアルリサイクル**やナフサ相当に戻す**油化等のケミカルリサイクル**を推進し、**国内循環に転換**するとともに、ワンウェイプラの削減や**バイオマスプラスチック等への素材代替**により、プラスチック資源循環を進めることが重要。



出典）プラスチック循環利用協会、石油化学工業協会、石油連盟等の公表データを基に作成（データは2024年のもの）

※1 ケミカルリサイクル：高炉・コークス炉原料、ガス化等
※2 サーマルリカバリー：固形燃料、セメント原料、発電焼却等

容器包装の3Rを進める全国ネットワーク事務局

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-12-2 藤森ビル6B 市民運動全国センター気付

Tel03-3234-3844 Fax03-3263-9463 携帯090-5433-8581